六甲大学
ROKKO-SAN DAIGAKU

六甲山にまつわる自然、環境、文学、食などの多彩な催しを大学のカリキュラムに見立てて情報発信する「六甲山大学」。山の旬の情報を通して、六甲山の魅力に迫ります。（原則、毎月第３月曜日に掲載します）

六甲山ジンギスカンパレス

創業50周年の限定ランチ

六甲山頂近くの六甲ガーデンテラス内にあるジンギスカン料理専門店「六甲山ジンギスカンパレス」が7月14日に創業50周年を迎えた記念に「六甲山ジンギスカンパレス　祝！50周年感謝祭」を開催、限定メニュー＝**写真**＝を提供している。11月30日まで。

とりわけ創業年の1976年にちなんだ「祝！50周年ラムランチ」（1976円）は、根強い人気の「ラムロール」、新鮮でやわらかく臭みが少ない「生ラム」、希少部位「ラムタン」の３種類を一度に味わえる。店内から見渡せる絶景もごちそうだ。

創業日の７月14日が誕生日の人には、食事代が半額になるセールも。記念フォトスポットや歴史を振り返るパネル展示なども実施している。

☎078・891・0225

神戸市立森林植物園

白黒テーマにキノコ展

兵庫県立御影高校環境科学部（神戸市東灘区）と同市立森林植物園は９月６日から、企画展示「第11回六甲山のキノコ展in森林植物園」を共催する。12月18日まで。

同部（通称・キノコ部）は、2008年に創部された。日本で唯一のキノコに特化した高校の部活動団体。代々、六甲山地の多種多様なキノコを観察し、標本を作製している。

企画展テーマは「シロクロキノコ」。「白」や「黒」とモノクロの名前が付いたキノコを特集する。また「第11回キノコフェスタ～あつまれ　キノコの森～」を９月22日10時半～15時半に開催。同部員によるワークショップや、キノコに関するクイズラリーを予定。木の粉でキノコグッズを作るクラフト作家による小物販売＝**写真**＝などもある。キノコづくしの一日をお楽しみください。

☎078・591・0253

神戸天空リゾート

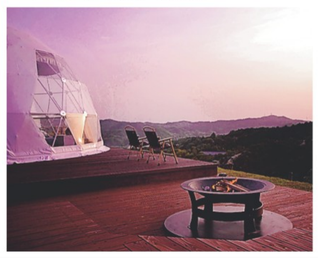
日帰りグランピング登場

神戸・三宮から車でわずか約20分の源泉かけ流し温泉付きグランピング施設「神戸天空リゾート」。今春から新たな日帰りプラン「デイグランピング」を展開している。

同施設では、朝は朝霧の香りとイソヒヨドリのさえずり、夕方には淡い桃色の夕焼けに染まる壮麗な山々＝**写真**、夜には山麓の田園風景の向こうに広がる市街地の夜景と満天の星、たき火の音が情緒を演出する。

グランピングエリアと直結するホテル棟内の宴会場を活用した企業研修や音楽イベント、ウエディングなど、訪れる人の幅広い目的に対応。大自然の中で非日常のひとときを過ごせる「天空の庭」として可能性を広げ続けている。湧き出る丹生山田の源泉で、さわやかな風と四季の音に浸ってみてはいかがだろう。

☎078・581・6000



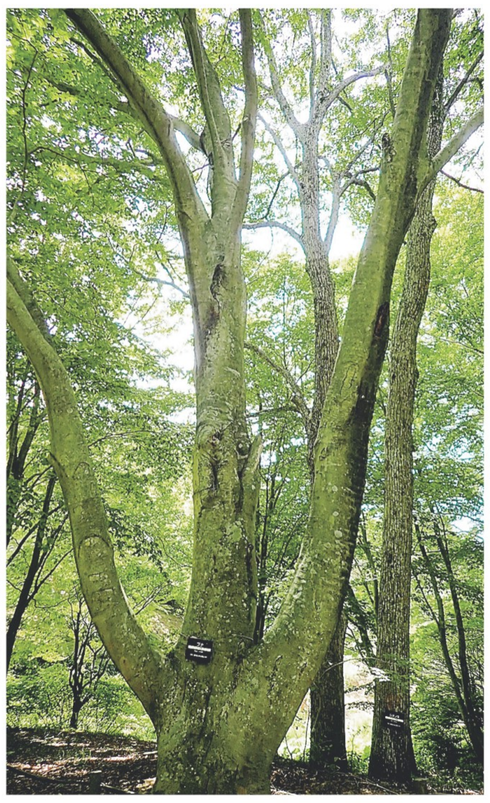
根岸真理が案内　山の四季便り

ブナ巨木 緑陰に秋の気配

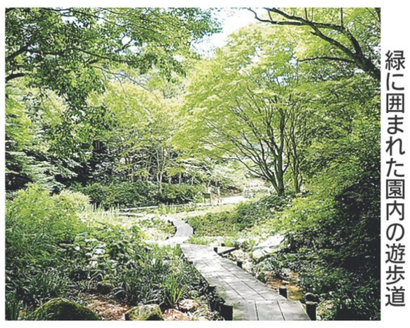
標高865㍍。北海道南部とほぼ同じ気候である六甲山上にある六甲高山植物園は、その冷涼な気候が大きな特徴だ。夏場は涼しさを求めて訪れることが多いのだが、先日行ってみたら、すでに秋の気配が漂っていて驚いた。

同園の学芸員で植栽担当もされている三津山咲子さんは「お盆を過ぎたら、六甲山は秋の風になります。その頃咲き始めるサワギキョウを見ると、夏の終わりを感じます。見頃を迎えているサギソウ、レンゲショウマ、キレンゲショウマ、ヒゴタイなどを見るとともに、ぜひ秋の風を感じに来てください。特にブナの大木のあたりは植物園内でも最も涼しいエリアで、お薦めです」と語る。

北日本や日本海側に多く分布するブナは、冷涼な環境に適応している樹木。兵庫県では、北部の日本海に近い山では比較的多く見られるが、南部で自生のブナが生き残っているのは六甲山地の標高が高いエリアだけだ。



ブナ＝いずれも神戸市灘区六甲山町北六甲、六甲高山植物園



緑に囲まれた園内の遊歩道

ハンモックカフェ

20年ほど前の植生調査では、120本余りのブナが確認されたが、標高800㍍以上のエリアのみに分布。温暖化がさらに進み、年間平均気温が上昇すると、これらの「六甲ブナは」絶滅するのではないかと言われている。

山上部から有馬温泉へ続く、紅葉谷道の上部で自生の大きなブナを何本か見ることができるほか、六甲山最高峰周辺、六甲ガーデンテラスの東側一帯、ROKKO森の音ミュージアム西側にある「ブナの径（みち）」などで、ボランティア団体「ブナを植える会」が植栽した六甲ブナが育っている。

高山植物園内は、六甲山地で最も手軽に六甲ブナを見ることができる希少な場所となっている。

ブナは、小さな葉っぱをたくさん茂らせる落葉広葉樹。同じ木陰でも、常緑樹や針葉樹林とは異なり、程よく光を透過させながら、優しい木陰を作ってくれる。リラックス効果があるという植物が発する物質「フィトンチッド」の作用もあり、ブナの木陰は人間にとっても非常に心地のいい場所だ。

まだまだ残暑が続くこの時期、心地よいブナの木陰で秋を感じてみてはいかが。園内には木陰で休憩できるスポットがたくさんあり、土日・祝日には、ハンモックでドリンクなどを楽しめるハンモックカフェもオープンしている。

サギソウ

キレンゲショウマ

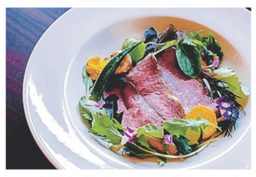
六甲高山植物園　晩夏の花々、愛でて散策も

ねぎし・まり　アウトドア系のフリーライター。1961年、神戸市須磨区生まれ。六甲山を活動拠点とし、六甲山大学広報専門委員。著書に「六甲山を歩こう！」など。

芸術学部

◆バイオリン・ヤングタレント・サマーコンサート　８月21日11時、ハルモニアKOBE六甲山森のステージ（山上バス「記念碑台」徒歩５分）。木立に囲まれた野外ステージ＝**写真**＝で、マウロ・イウラートさんのバイオリンスクールで学ぶ上級者（小学１年生～大学生）が奏でる。一般千円、学生500円、小学生以下無料。天候や湿度により開始時間変更、延期・中止の可能性あり。チケット購入はhttps://teket.jp/15542/75698、予約・問い合わせcontact@harmonia-kobe.com、☎090・3929・8409

◆避暑地で愉しむ　夏のジャズコンサート　８月22日11～13時、六甲山サイレンスリゾート（六甲山上バス「記念碑台」下車、徒歩４分）。英国風建築のカフェテリアで大阪府出身、ニューヨークで活動するジャズピアニスト、山本恵理さんの演奏やトークを聴きながら、ランチ（ローストビーフプレート＝**写真**、キッシュ）やティータイム（スコーン２種と紅茶）を味わう。定員40人（着席、完全予約制）、8500円。申し込みは同リゾートホームページから。同リゾート☎078・891・0650



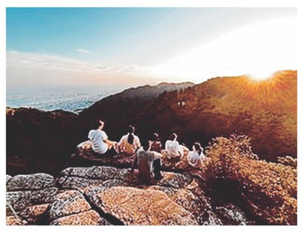
総合学部

◆マリオさんと自然であそぼう！　９月13日９時～11時半、県立甲山森林公園（同公園管理事務所前に集合。阪神西宮駅から阪神バス「県立甲山森林公園前」）。野遊び研究家のマリオさん（山崎春人さん）と園内を歩きながら植物について学ぶ＝**写真**。草花遊びや工作なども。動きやすい服装、運動靴で。帽子、タオル、飲み物持参。

対象は年中児から大人。大人300円、小学生以下200円。先着15人、前日までに電話で要予約。雨天時は屋内で実施。同公園管理事務所☎0798・73・4600

健康学部

◆「六甲山　焚火（たきび）クックハイク」絶景巡りハイク編　９月26日14時半～20時20分、六甲ケーブル下駅集合。六甲山上の絶景ポイントをハイキングで巡りながら、「THIRD PLACE ROKKO」を目指す。ロッククライミングの名所、堡塁岩で夕日鑑賞をした後＝**写真**、たき火クッキングとディナーを楽しむ（天候により炭火焼き料理に変更の場合あり）。山歩きできる服装、靴で。飲み物、防寒着、雨具、手袋持参。参加費5500円（食事代など含む）。交通費、施設入場料は別途必要。要予約。定員10人。ホームページから申し込む。雨天決行、荒天中止（前日15時ごろ判断）。同店☎078・891・0529



催しの日程、内容などは変更される場合があります。お出かけ前に主催者にご確認ください。ホームページhttp://653daigaku.com/

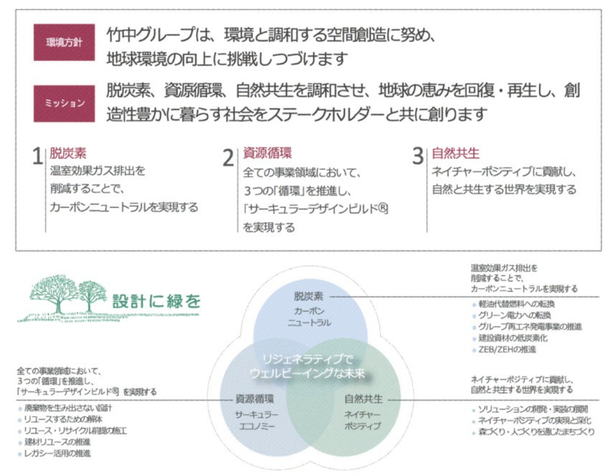
リジェネラティブな未来へ向けて

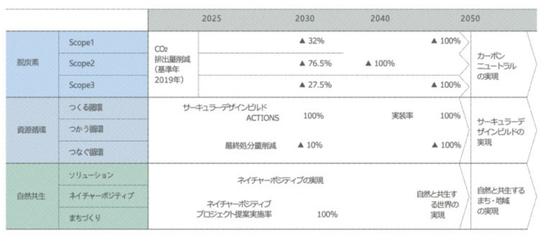
想いをかたちに 未来へつなぐ
TAKENAKA

竹中グループは2014年から2025年に至るまでのグループ成長戦略を策定し、時代や社会が要請する建築や「まちづくり」を通して、サステナブル社会の実現に貢献するとともに、地球環境への取り組みを進めてきました。サステナブル（持続可能）という活動は、地球への環境負荷をスローダウンさせていくネガティブな影響を減らす活動でしたが、気候変動、災害、紛争、少子高齢化やテクノロジーの加速度的な発展など、社会環境は人々の予測を超えるスピードで変化を続けており、地球の限界（Planetary Boundaries）を超える時代に入りつつあります。この劇的な変化に対応していくためには、人・組織・社会システムなどあらゆる領域でポジティブな影響を意図的に生み出していく「リジェネラティブ（再活性）」な考え方や姿勢を持ち続けることが必要です。竹中グループでは、新たに「環境戦略2050」を定め、脱炭素・資源循環・自然共生を調和させ、地球の恵みを回復・再生し、創造性豊かに暮らす社会をステークホルダーと共に創る取り組みを進め、リジェネラティブでウェルビーイングな未来を目指しています。これらの環境課題への対応は、果たすべき社会的責任であると共に竹中グループの持続的成長とお客様への新たな価値創造を実現するための重要な経営戦略です。

中長期の視点で環境問題、生産性向上への対応が求められる中、当社は建築やまちづくりを通じてAIやロボットの活用、再生可能エネルギーの導入、サーキュラーデザインビルドなどに主体的に取り組んでいきます。また、2050年目標であるカーボンニュートラルの達成と自然と共生する社会の実現に向けて、お客様、行政庁、協力会社などのステークホルダーの方々と協力して取り組むとともに、積極的に情報を開示していきます。

2026年以降の竹中工務店、竹中グループは、更に地球環境に積極的にコミットする企業グループとして、皆様に新たな価値を提供し、100年後にも存続することを目指して参ります。





↑3領域におけるKPI

↑大阪避雷針工業神戸営業所

わたしたちは 六甲大学 の活動を応援しています

Daiwa House　想いをかたちに 未来へつなぐ TAKENAKA　六甲山観光株式会社 KOBE Mt.Rokko ART & TOURISM Co., Ltd.

（順不同）

【実行委員会】六甲摩耶観光推進協議会／摩耶山観光文化協会／灘百選の会／神戸観光局／神戸新聞社　【事務局】神戸新聞地域創造内　e-mail:info-653@kobe-np.co.jp